和歌山県立
日高高等学校
SGH通信
第12号
2020年9月11日

２年普通科総合的な探究の時間 中間発表会（４）

地域産業分野は会議室で、和歌山大学の岸上先生より指導助言をいただきました。自分たちの研究に対する知識・知見を深く調べることの重要性や、具体的な数値を示すことの必要性について教えていただきました。

班での取組が始まったばかりでの発表会でしたが、それぞれの班に対して細やかな助言をいただき、生徒たちにとっては今後の方針を考えていくうえで貴重な時間となりました。

地域産業　班別テーマ一覧

A01	外国人観光客を増やす～コロナに負けるな～
A02	キャンプへ来る人を増やしつつ、ゴミ問題を減らす。
A0304	太刀魚を全国へ広める。
A05	紀州鉄道を生かした地域産業の振興を考える
A06	御坊の販売店・飲食店の振興
B01	みかんについて
B02	黒竹
B03	地元パン屋を救え！！
B04	しらす

生徒の学び

発表者がしっかりと発表して、
聞き手がしっかりと話を聞いて質問することで、発表会は成り立つ。

２年４組　若林音和

発表者にとって必要なことは、大きな声で、伝わりやすい表現を使って発表することです。原稿ばかり見るのではなく、アイコンタクトに気を配り、ジェスチャーも混ぜて発表することが大事だと学びました。

また、聞き手にとって必要なことは、発表者をしっかり見て、聞くということです。発表者が発表しやすい雰囲気を作ることが大切な役割だと感じました。

発表会は、発表者だけでは成り立たないということ、聞き手がしっかりと協力することで成り立つということを、今回学びました。

他に、内容をもっと深く調べる必要があることも実感しました。キャッチコピーの大切さも学べたよい時間でした。